

§ 2020年11月12日 荒島岳 山行報告書

目的の山名	荒島岳 1,523m (日本百名山)勝原コース	報告者	有島 講次
日程	2020 11/12 (木)	参加者	山本 南, 山本 積, 久末芳正, 米田郷彦, 塩見泰男, 今泉 武志, 永田徳之, 有島講次, 計 8名 (久末車)
行動記録	5:55岡崎会社駐車場発 ⇒ 6:25鞍ヶ池PA集合、出発 ⇒ 8:40勝原スキー場跡駐車場到着 ⇒ 8:55登山開始(350m) ⇒ 9:45登山口(800m) ⇒ 10:25 トトロの木(820m) ⇒ 10:45白山ベンチ(935m) ⇒ 10:55深谷ノ頭(1,015m) ⇒ 11:35シャクナゲ平(1,204m)[休憩15分] ⇒ 11:50シャクナゲ平 ⇒ もちが壁 ⇒ 前荒島岳 ⇒ 中荒島岳(1,420m) ⇒ 12:55荒島岳山頂(1,523m) ⇒ 13:40山頂出発 ⇒ 14:40シャクナゲ平 ⇒ 15:25白山ベンチ ⇒ 16:00登山口 ⇒ 16:40勝原駐車場 ⇒ 17:00勝原駐車場出発 ⇒ 19:45鞍ヶ池PA ⇒ 20:00岡崎会社着 ●累積標高差:1,260m ●歩行距離:9.5km ●歩行歩数:21,000歩 ●合計時間:8時間・行動時間:7時間・休憩時間:1時間 ●休憩も含み 登り:4時間, 下り:3時間、頂上:45分		

- ・猛暑日、酷暑日が異常に多かった今年の天候も、11月の声を聞くなり早くも西高東低の冬型気圧配置が現れ、東北地方から積雪の便りも届いた。この気圧配置が緩み、安定した日を見計らい12日(木)に8名が参加し、福井県内で唯一、日本百名山に選ばれている名峰“荒島岳”の登山が実施された。
- ・5時55分 気温6度 岡崎を出発、鞍ヶ池PAで1名をピックアップし一路荒島岳を目指す。
- ・自動車道を走る事1.5時間、東海北陸自動車道白鳥ICで降り、158号線で大野市を目指し西に向かう。
- ・最初に出迎えてくれたのが、対岸の紅葉を風の無い湖面に映してる、九頭竜ダム。堤体が石を積上げて造ったロックフィルダムで、中程に架かっていた吊り橋は瀬戸大橋の試作として建設されたそうです。(撮影スポットである)
- ・次に出迎えてくれたのは、福井県らしく道の駅に建つ恐竜のオブジェ。
- ・白鳥ICから約50分 8時40分 勝原スキー場跡駐車場に到着。(350m)

- ・駐車場を出ると、ゲレンデに真っ直ぐに延びた、コンクリート道の急斜面を登ります。歩く事15分、コンクリート道の終点に着きます。
- ・ここから スキーの林間コースであつたらう つづら折りの道を登る。ゴロゴロの石で結構歩きにくい道を40分程登ると、リフト終点の残骸跡に着きます。ここが荒島岳登山の登山口です。(800m)
- ・登山道は尾根を歩くコースで、険しく、厳しい登山道となっているが、美しいブナの原生林を歩く為、四季を通じ楽しめるコースとなっている。
- ・コース内は幾つかのポイントが設置してあり、最初に現れるのが“トトロの木”です。⇒ブナの木。現在は倒木化しているが、根元の太さは見渡す限りNo1の巨木。
- ・この辺りから傾斜は厳しくなっていくが、石・岩ゴロゴロの道ではなく根上がりを起こした道に、多量の落ち葉が敷き詰められており歩き易い。
- ・美しいブナの原生林を見ながら登り続けると、“白山ベンチ”と名付けられた白山展望ポイントに着く。
- ・急登第1弾始まる。 白山ベンチを少し登った所から、深谷ノ頭 ⇒ シャクナゲ平迄 標高差≒250m ここが藤原コース第1急登ヶ所である。ひたすら丸太階段、階段、階段……を登ります。奮闘する事≒40分、傾斜は次第に緩やかになって来ます。視界が開き始め、シャクナゲ平に着きます。ここには小さな広場があり、休憩するのに格好の場所になっている。また他コースとの合流地点でもある。



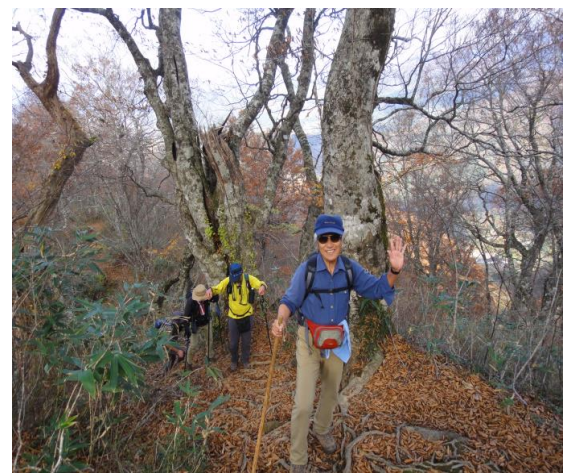
皆さん 手際よく準備し集合写真撮り イザ!! 出発



シャクナゲ平 やっと一息

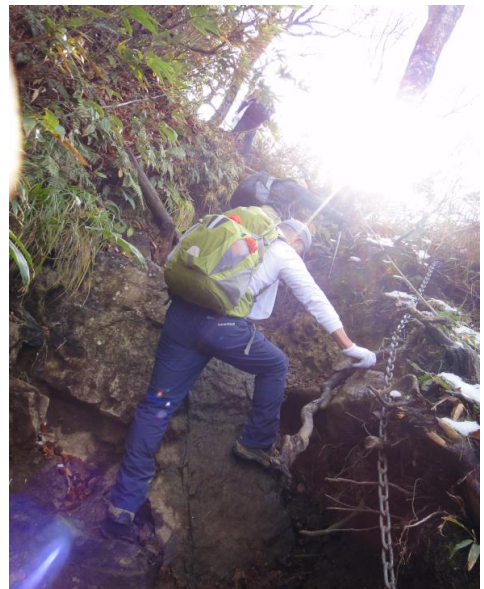


紅葉真只中 ブナの巨木



急登第1弾奮闘

- ・シャクナゲ平を左に5分ほど下がった所で登り返しになる。
- ・**急登第2弾が始まる。** 岩場が多くなり、ここからが**“もちが壁”**と呼ばれる急登が始まる。岩場には鎖、梯子が設置されており、急斜面には木段や丸太階段が作られているものの、ところどころで破損して崩れており非常に歩きにくい。また初雪が残っており、濡れた登山道は滑り易く、足の置き場を考えながら慎重に登らなければ危険を伴い一層時間を要した。
- ・標高差≒200m、奮闘する事≒50分 もちが壁を登り切ると急に視界が開き始め、緩やかな尾根道に変わった。さらに進むと短い急登の先に設置してある道標が見えてくる。中荒島岳の山頂である。
- ・**急登第3弾** 両サイドクマザサの登山道を進むと大きな壁が立ち上がる。岩場や梯子はないが、標高差≒1.100mを登ってきた体には充分過ぎる急登であった。
- ・急登を登り切ると中荒島岳(1,445m)、荒島岳山頂迄は展望抜群の稜線歩くだけ。先行者に遅れる事20分最後尾到着。



もちが壁で奮闘中の今泉さん

- ・広い山頂からの眺めは見事の一言に尽きる。独立峰ならではの周囲を遮る物がなく360度の大パノラマが楽しめた。10月山行の三方岩岳も確認できた。
- ・山頂で登頂撮影、昼食後 80分遅れの 13:40下山開始。
- ・下山は安全を考慮し全員 軽アイゼンを装着して下山。もちが壁中程で外す。
- ・下山も登りと同コースで 16:40全員無事に勝原駐車場に到着。
- ・着替えもそこそこに 17:00出発、19:45鞍ヶ池PA到着、20:00岡崎・会社駐車場到着。

今回は、累積標高差1,260m 急登、雪道ありの厳しい登山であったが、全員が登頂出来、全員怪我なく、無事下山出来てよかったと思います。

荒島岳は日本百名山に選ばれているだけあって、800m辺りから続くブナの原生林は素晴らしく、次は新緑の頃再び訪れてみたいと思わせる素晴らしい山であった。



急登第3弾 中荒島岳の全貌



怪我もなく無事下山



初雪で荒れてる登山道



白山をバックに登頂記念写真

*参考 報告者のスマートウォッチ記録

日付	歩数	距離(km)	
6/17	27,767	19.02	天狗岳
9/14	23,728	16.25	独票
11/12	28,414	19.50	荒島岳